

なぞは解けた！りんどう祭の「シンボルマーク」

同窓会報第22号で表題のシンボルマークの由来について情報提供をお願いしたところ横浜在住の島津重久さん(高20回)から耳よりな情報をお寄せいただき、併せて貴重な写真(クラス写真ほか)と卒業アルバムを寄贈していただきました。

さて、「シンボルマーク」の由来ですが、作成者は島津さんご本人(りんどう祭委員だったそうです)。平仮名の「り」の字をデザイン化したとのこと。寄贈していただいた1968年3月の卒業アルバムには、この年の「りんどう祭」(第13回)の校門アーチ、音楽祭看板に確かにシンボルマークが入っていました。

島津さんによると「マークを決めるための手続きは特段しなかった」とのこと。ごく「自然」に始まったシンボルマーク。それが使い続けられて半世紀。今では、りんどう祭の伝統の一つになったのです。

なぞは解けた！りんどう祭の「シンボルマーク」。島津さん、ありがとうございました。

(龍胆会資料室長 大日方悦夫)

